

涼一
りょういち

この服どう？
似合ってるかな？

今日、僕の婚約者は

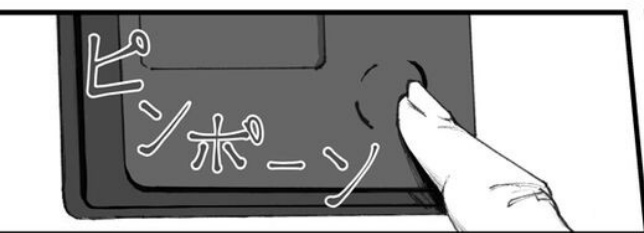
僕以外の男と…

変じゃない？

これから
デートに出かける

変…じゃない…







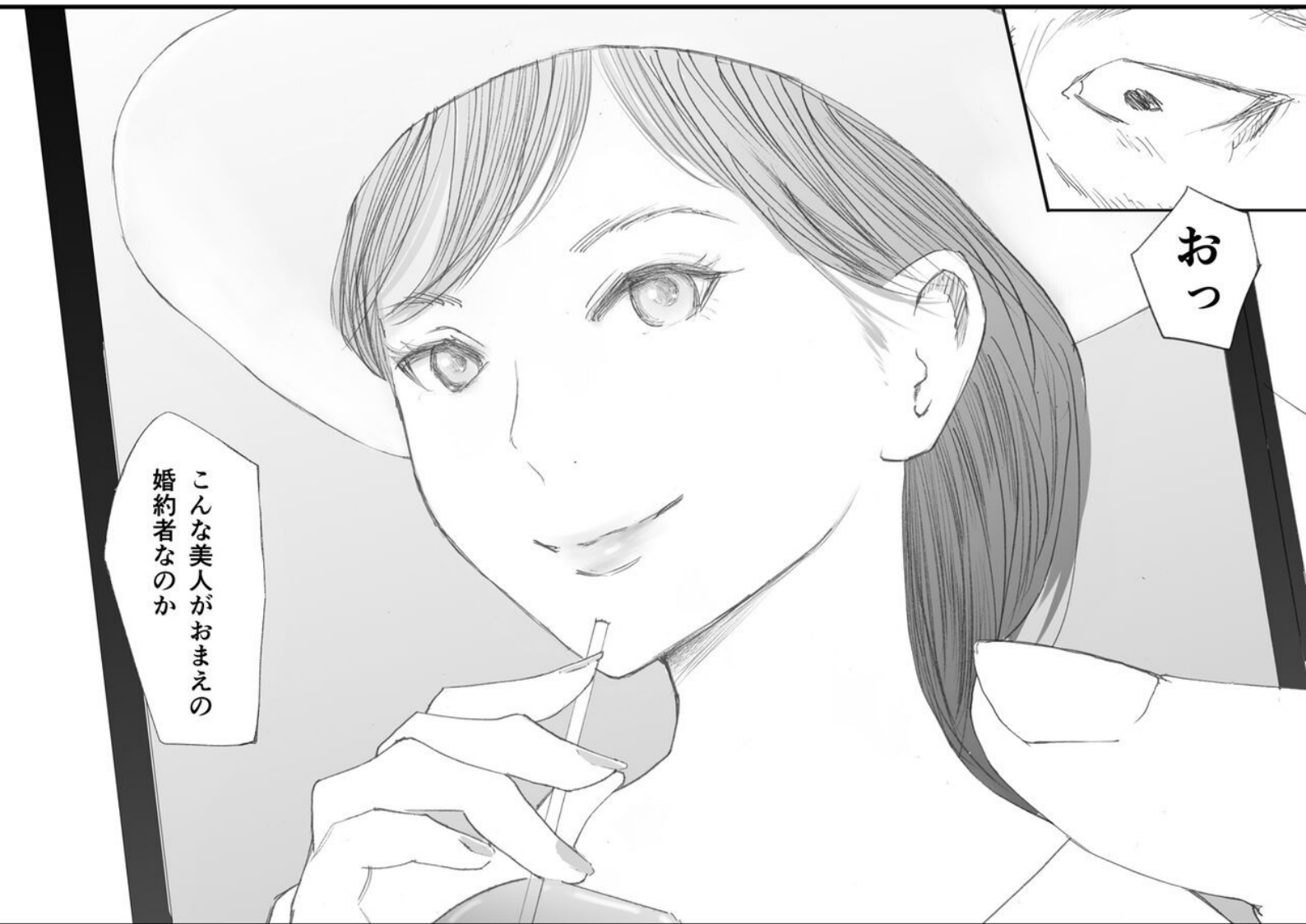
わからせセックスに墮ちた
婚約者

猫目恋

R18
成人向け











えー!?

わたしが権藤部長
とデート？

意味わからない
んだけど...

ハイ、お茶

実はさ...





わたしにとってセックスなんて
大切じゃない！

涼一にとって
わたしの気持ちなんて
どうだっていいの？

わたしたちが今まで積み
重ねてきたことも
どうだっていいの？



はたん



美咲！

ツーン



それより二人の気持ちが寄
り添ってることが
一番大切なの！



もう寝る！





あのね
ちょっと考えてみた
んだけど
わたし…

ふふふ…

ハモっちゃったね



ほんとう？ありがとう
絶対これからの僕たち
のためになるよ！



部長さんとデート
してもいいよ



ちぎ

しかし、僕は美咲に
秘密にしていた
ことが一つあった…



当たり前でしょ
なに变なこと
言ってるのよ

はは、でもしたい
ことは何をしても
いいからね

もちろんデートって言ったって
お茶したりご飯食べたりぐらだからね
美咲が嫌なことはしなくていいんだよ



契約書…
ですか？

そう。こういうのは
はっきりとルールを
決めておいたほうがいいだろ

契約書

部長室

この企画は美咲ちゃんが女らしくな
ために行われる

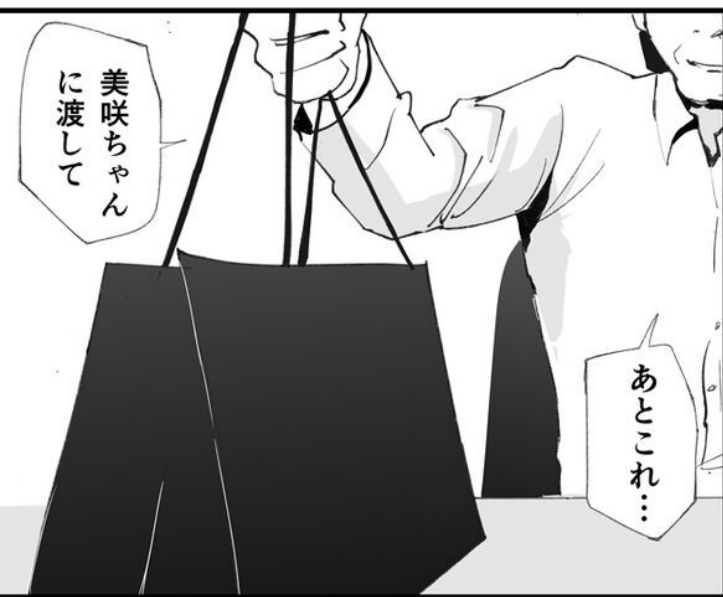
・美咲ちゃんが望むことならば、何で
あっても権藤は行う権利を持つ

・美咲ちゃんも権藤も涼一にデート内容
を秘密にする権利を持つ

・デートの結果について、どんなことでも
涼一は受け入れる義務を持つ

・上記に違反した場合、涼一は権藤に
一億円の賠償金を支払う義務を持つ

署名 権藤 雄一郎
正木 涼一



美咲ちゃん
に渡して

あとこれ…



契約のことは
美咲ちゃんには
秘密にしておけよ

はあ



こうして美咲は
権藤部長とデートする
ことになったのだった

契約書だから
一応ハンコ
押してくれ



身に着けてくるように
言っておいて

俺が美咲ちゃんの
ために選んでおいた
プレゼントだよ



なんですか？



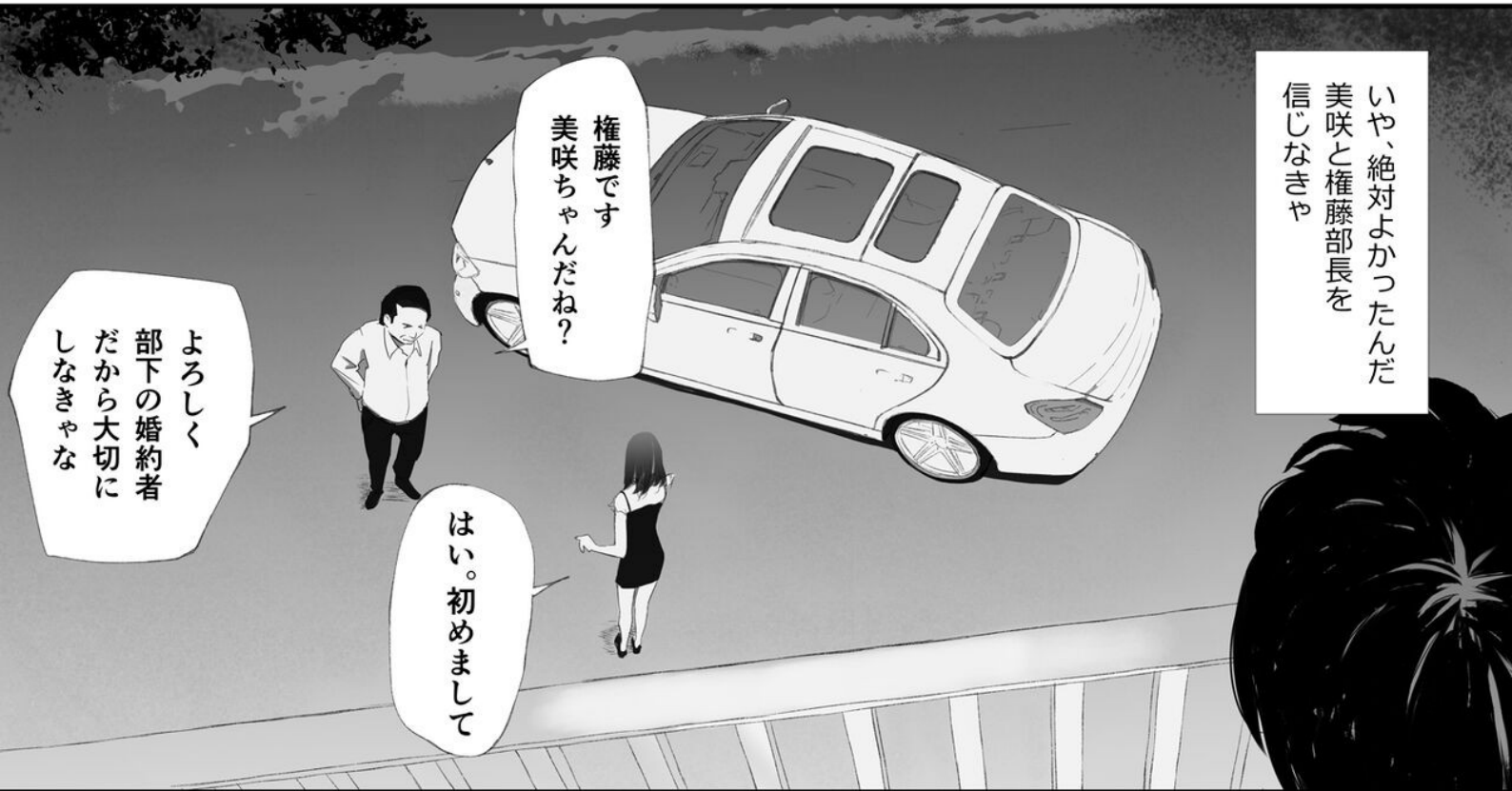
本当にこれでよかった
んだろうか…



ばたん



じゃあ行ってくるね
用意しておいた
ご飯、食べてね

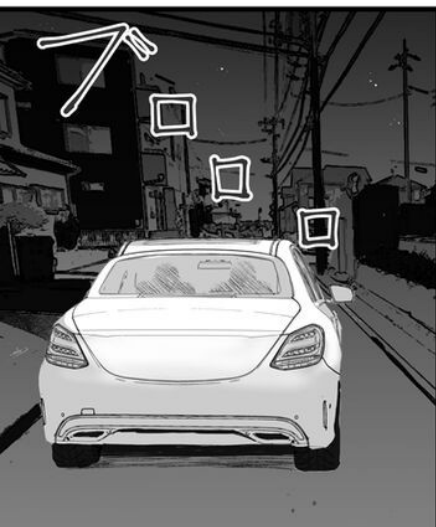


権藤です
美咲ちゃんだね？

いや、絶対よかったんだ
美咲と権藤部長を
信じなきゃ

はい。初めまして

よろしく
部下の婚約者
だから大切に
しなきゃな



千々

さ、行こうか
美咲ちゃん

うわあ…すごい緊張する
涼一以外の男の人と二人きり
なんて最近、全然ないし…

涼一と美咲ちゃんのため
なら上司として俺は一肌
脱ぐよ。まあ気楽にして

それに俺とデートして
みれば逆に涼一のよさが
わかるよ

俺としてもこんな可愛い
子に会えるなんて嬉しいよ
ありがとう

とんでもないです
わたしたちこそ
こんなことお願い
してしまつて…

さ、着いたよ

権藤さんつてちよつと
怖い顔だけど優しいそう…

あせ

あせ



うわあ、すてき



どうぞ

カタ

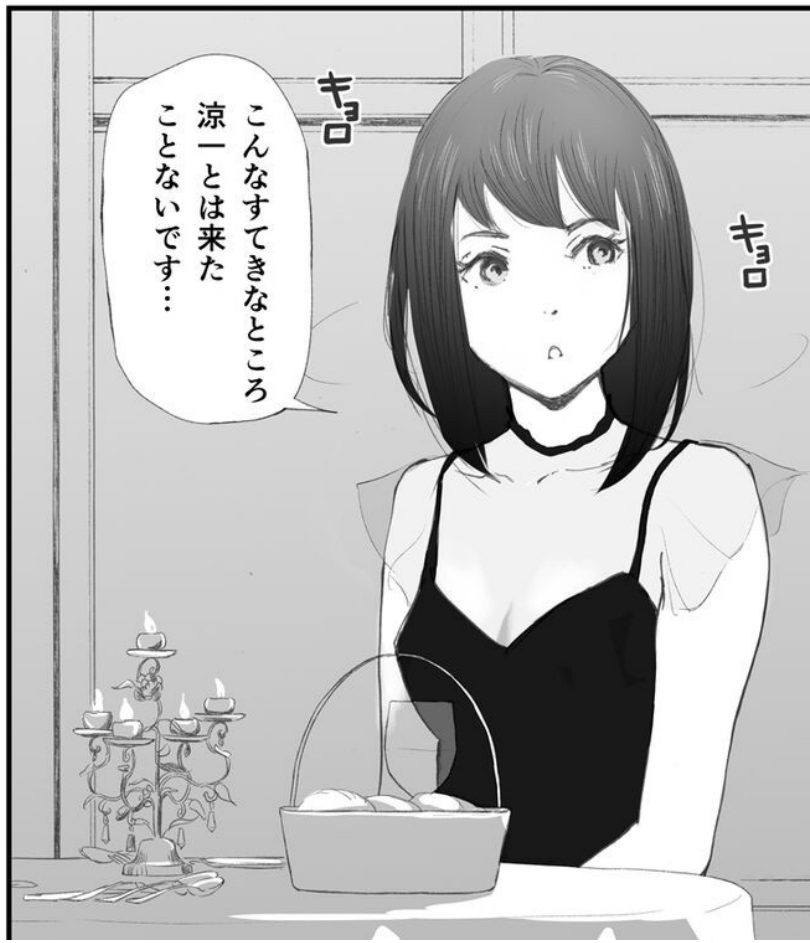
あ、ありがとうございます！



じゃあ、涼一にも早く年取ってもらわなきゃ

涼一はまだ若いからこういうところは無理だろう

はは、彼も俺ぐらになればちょうどいいかもね



こんなすてきなところ涼一とは来たことないです…

キョ

キョ



権藤部長の声低くて安心する…



涼一のそういうところが
美咲ちゃんと夜の営みが
うまくいかない原因だろうな



涼一はいい奴だが
もう少し男として
成熟する必要がある
ちよっと優しくすぎるな

優しいっていう
より優柔不断
かもしれないが



そうなんです！
わたしも涼一にもっと
しっかりしてほしいとき
がよくあるんです！



すべてを支配されて…

心がなくなる？



美咲ちゃんに
対しては優しい
だけでなく…

ときには美咲ちゃんの
すべてを支配するような
強さも必要だと思うよ



自分の心がなくなる
ほどすべてを男に奪われて
みたくないかい？



涼もそういうことを
言ってくれたらいいなあ

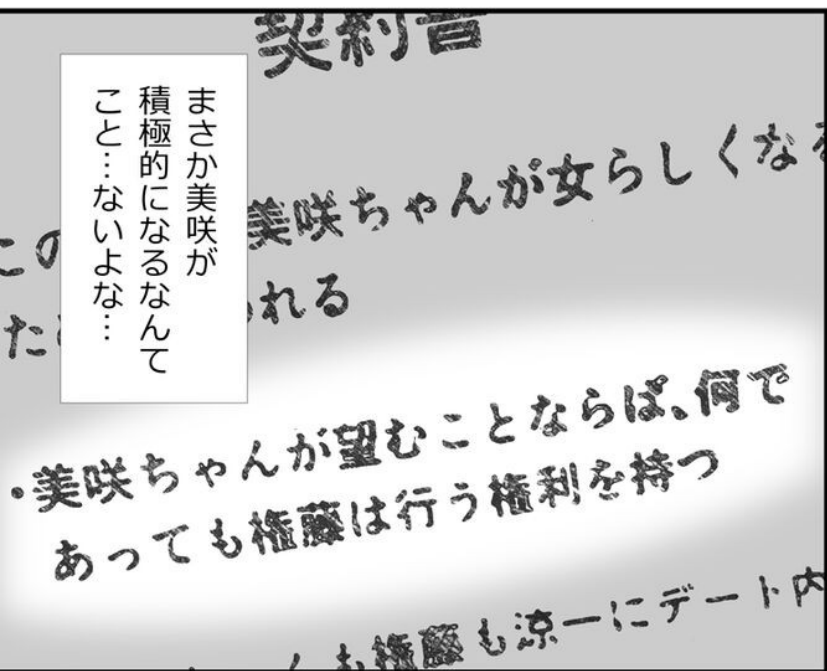
美咲ちゃんが変われば
涼も変わるはず!

びどろ



今日は本当に
楽しかったよ
俺みたいな男で
よかったら、
いつでも美咲ちゃんに
女を意識することを
教えてあげるよ

ふふ、そういうこと
言われるのすごい
新鮮です…



契約書

まさか美咲が
積極的になるなんて
こと…ないよな…

美咲ちゃんが女らしくな
れる

・美咲ちゃんが望むことならば、何で
あっても権藤は行く権利を持つ

…も権藤も涼一にデート内



部長は強引だから
美咲が嫌がること
してなきやいいけど…

今頃美咲は早く帰り
たがってるんじゃないかなあ



あっ!

カッ

ズッ



そしてどうすれば美咲ちゃんが
変わるかっていうと…

男の人にすべてを支配
されればいいんですよね
すごい言葉だから
おぼえちゃいました…

はは、美咲ちゃん
は筋がいいな



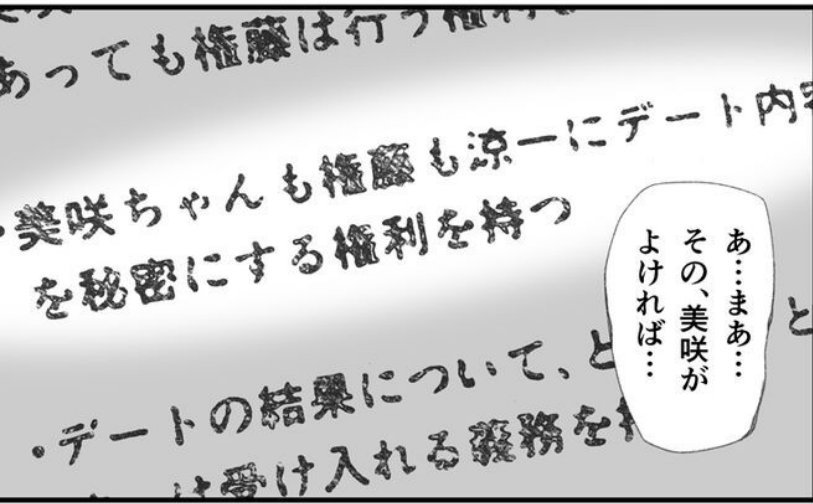


聞きたい？

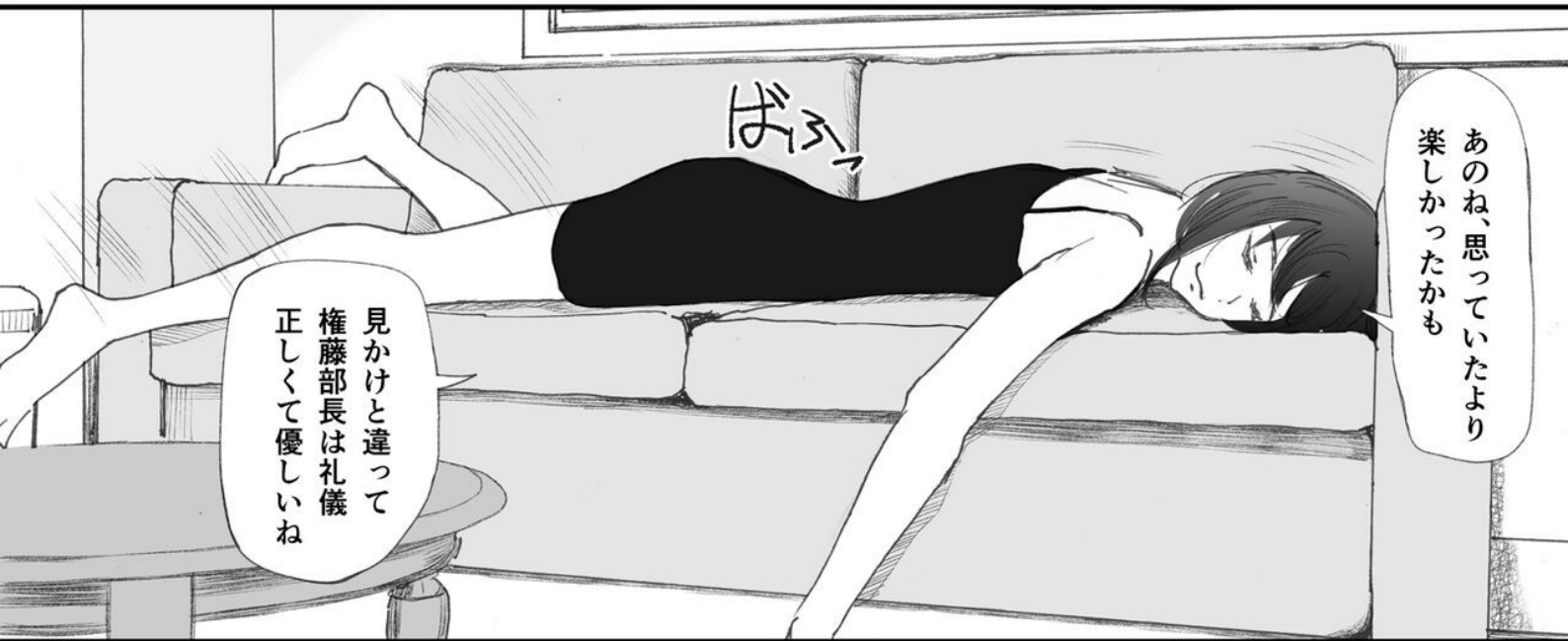


ふう、ハイヒール
慣れてないから大変

おかえり！
どうだった？



あっても権藤は行く権...
美咲ちゃんも権藤も涼一にデート内
を秘密にする権利を持つ
あ...まあ...
その、美咲が
よければ...
デートの結果について、と
受け入れる義務を



あのね、思っていたより
楽しかったかも

見かけと違って
権藤部長は礼儀
正しくて優しいね



クスクス



美咲!!

きゃ〜
涼一に襲われた



ね、美咲
エッチでしょ？

いいよ

無理…

痛い…

やっぱり

あ…



その夜も最後まで入らなかったけど、いつもより美咲は積極的だった気がする…
こうして、権藤部長とのデートは続くことになった…



そりゃ見たいよ…
美咲のそういう姿は
どんなAV女優より絶対
対セクシーだと思う！



涼一も、わたしが女らしく
すぐくイヤラシイこと
してるの見たいの？

一週間後：美咲と
権藤部長の二回目の
デートの日が来た。

僕たち最高に
お似合いだよな
あとはエッチさえ
うまくいけば…

僕は気付いていなかった…
この時、美咲を引きとめていたら
僕たちの未来は変わっていた
はずだということ…

大丈夫？
イヤじゃない？

僕にわかって
いたのはただ…

美咲が自分の中の
女を意識し始めて
いるってこと

こないだほど
抵抗ないから

ふふ
心配しないで

そしてそれが僕と美咲にとって、
本当に愛し合うために必要だ
ってことだけだった…

わたしは気付いていた…

自分でも知らなかった
わたしの何かが
権藤さんに引き出され
始めているってこと…

来ました…

あの日以来わたしの
中から
消えない言葉がある
それは…

それは涼一とわたしに
とって必要なこと
だって信じているけど…

…支配されるって言葉…

入りなさい

ここに来たということは
俺にすべてを支配されることを
美咲は受け入れたということだ

そう…なんですか？

もちろんそう
だよ
たとえ無意識
であっても



しかし、それは怖い
ことでもあるだろう？
自分がなくなつて
しまふみたいで…

だから女は防御本能で
自分の願望を
押し殺すんだ

だがその防御本能を
捨てなければ…

美咲は本当の女
になれないよ

はっ

権藤さんの言葉

体はもう
拒絶してないぞ

すごくスムーズに
心に入ってくる…

あとは美咲の
心の問題だ…

本当の自分を知る
覚悟をするかどうかのな

本当のわたしを知るためには…
きっと権藤さんのすべてを
受け入れなきゃいけない…

ん…涼一より優しい触り方だ…

わたし…
もっとわたし自身のこと
知りたい…

涼一…わたしがこんなこと
までするなんて思ってたない
だろうな
ごめんね、でもこれはわたし
と涼一のためだから

んあ



え…なに？
この大きさ…

それならば…

自分を捨てる気持ちで
奉仕してごらん

ゴキ

ゴクッ

ゴキ

ゴクッ

ゴキ

ゴキ



ポワッ

わたしの中にこんな
のが入ってくるの？

コワイ…でも…



なんか体が…

熱い…

くちゅ



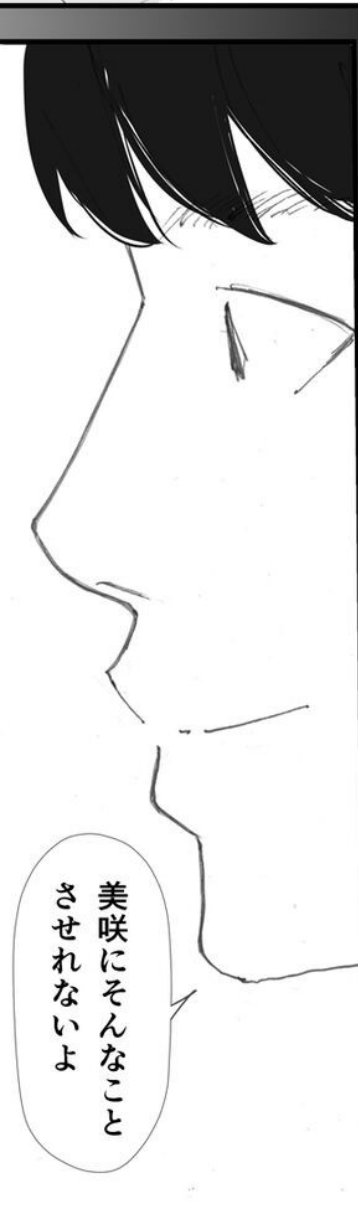
いや、女というより
メスとしてだな



目をそらしちゃ
だめだよ

美咲は女としてこれに
支配されるんだからな

トク



美咲にそんなこと
させれないよ



ただのメス…わたし…
すごい自分を
否定されている…

はむっ



今は、東美咲でもなく、
涼一の婚約者でもない
ただのメスだと思って
しゃぶりなさい

トク



それじゃあ、まるで
美咲のこと道具として
使っているみたいだから



男の人って、
口でされると
嬉しいの？

そうかもしれないけど
美咲にそんなこと
させれないよ



そうなることで初めて
美咲は自分の心の壁を
壊せるんだぞ



おまえは奉仕用のメスだ

ちゅ
ちゅ

涼一と権藤さん…
全然ちがう…

心の壁を壊す…？

ゴキ

ドクン

バキッ

でもこれは涼一のため…
涼一のため…

そのためメスになって…
権藤さんに支配されて…

んっ

涼一のため…
ほんとに…

わたしって…
奉仕するのが
似合ってるのかな…

うん
うん

こんな感覚、今まで
味わったことないだろ

ハア
ハア

でもこういふこと
してる自分がイヤじゃない…

はい…

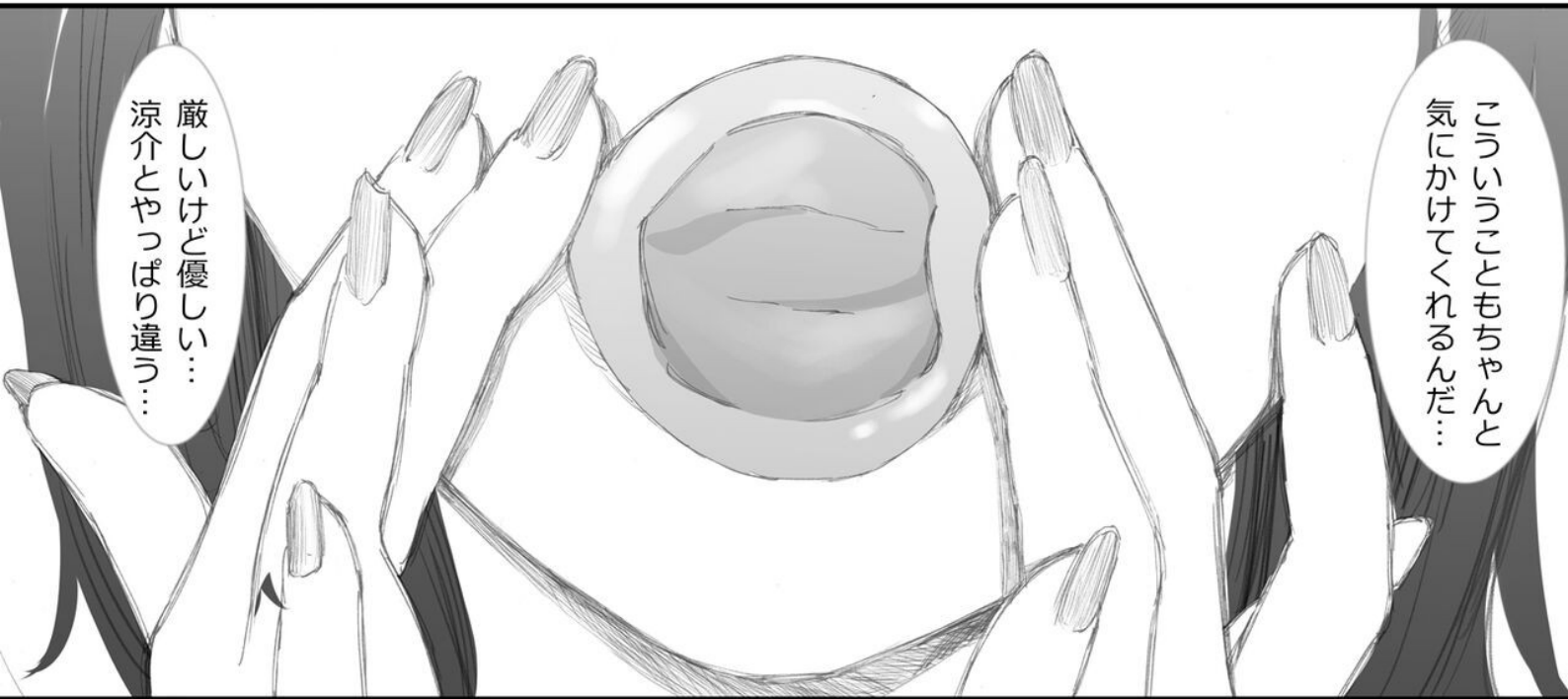


は...

避妊はとても
大事だからね



口に咥えて
つけてごらん



厳しいけど優しい...
涼介とやっぱり違う...

こういふこともちゃんと
気にかけてくれるんだ...



グッ
グッ



安心できるだろう？

んっ



口と舌を使い
なさい。自分で
確かめながら...



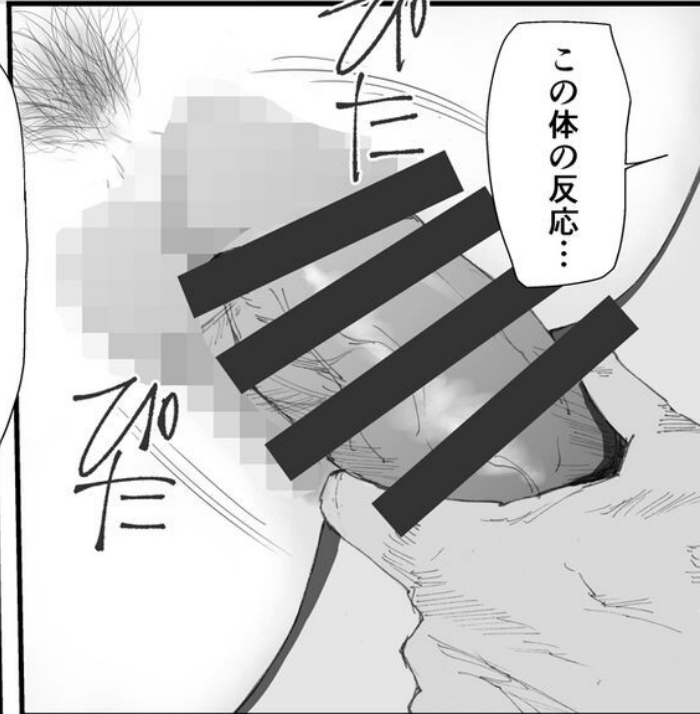
今の美咲はしゃぶっただけで
グチョグチョに
なってるじゃないか

くちゅ
くちゅ
くちゅ



どうして、どうしてなの…
いつもこんな
濡れないのに

わたしどうなってるの…



この体の反応…

びた
びた



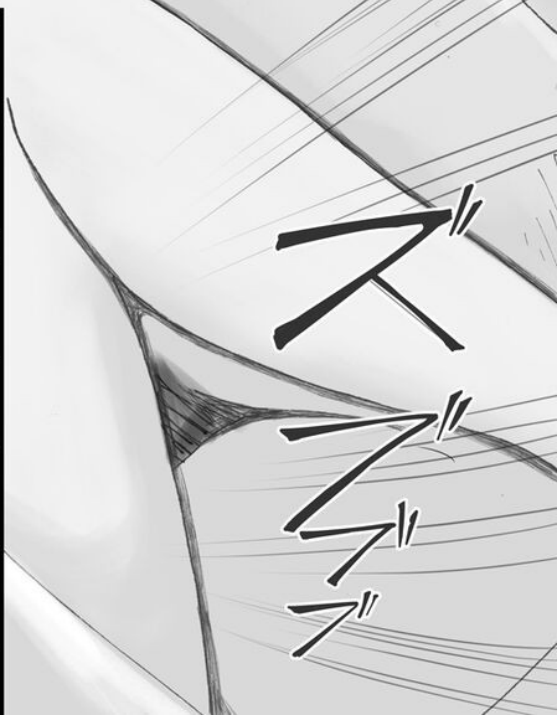
それを今から
教えてやるよ

ぬちゅ
ぬちゅ



俺とつながることを
望んでるってことだぞ







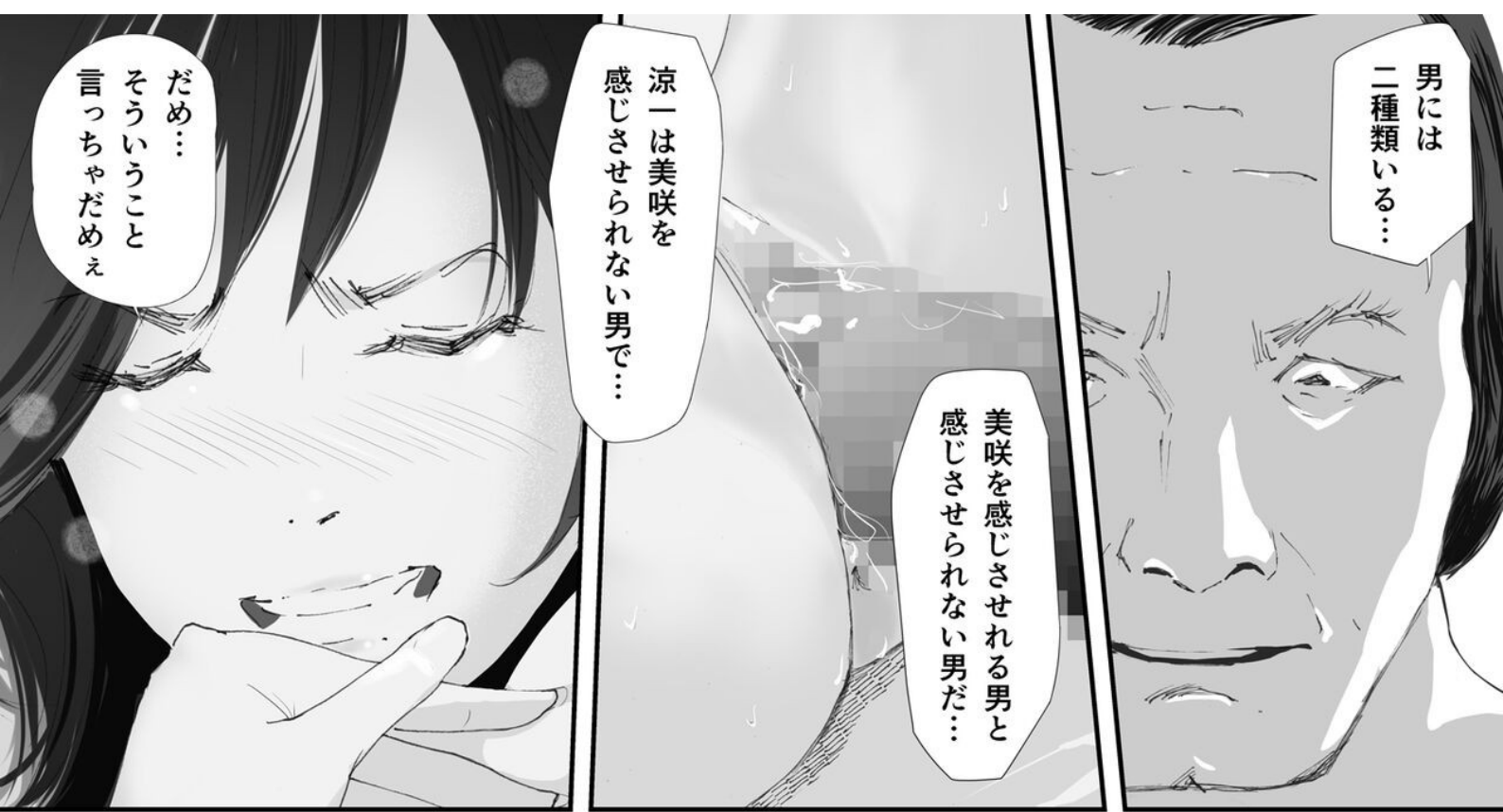
いいメス顔になってきたぞ

こんな顔、涼一に見せたことないだろ

あいつとの付き合いなんてままごとレベルだったってことだな

そんな...そんな...

このままじゃ今までのわたしがなくなっちゃう...



男には
二種類いる…

美咲を感じさせれる男と
感じさせられない男だ…

涼一は美咲を
感じさせられない男で…

だめ…
そういうこと
言っちゃだめえ



俺が美咲に
ふさわしい男だ

涼一は不要だな

いやああ

ん

ん

ん

ん

ん

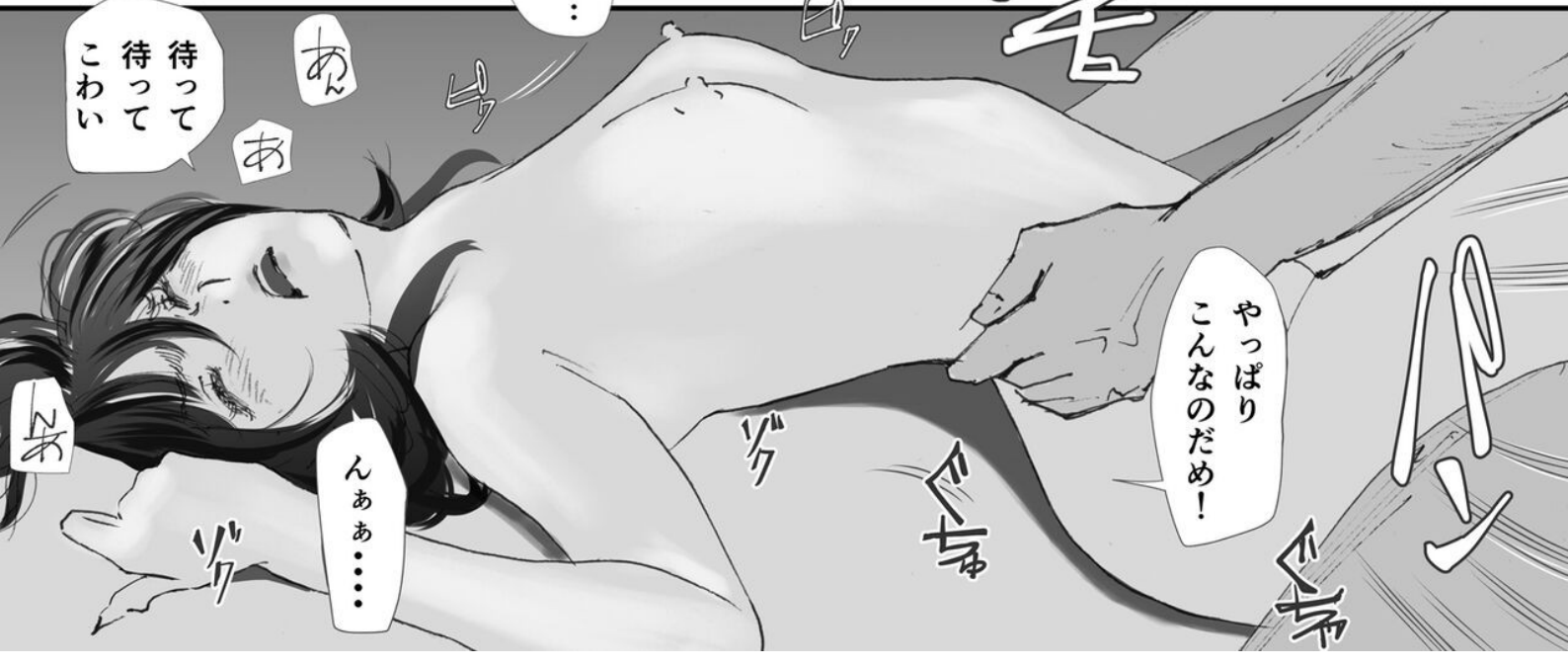
ん

ん

ん

ん

ん



こわ
壊れちゃう

はん

しめえり

ゾク

あ

あ
あ
あ

これが逝く快感だ
しっかり身体に刻み込め



ゾク

ゾク

あ
あ
あ



ん

あ

ビク
ビク
ビク

あ

ん
あ

あ

ビク
ビク
ビク

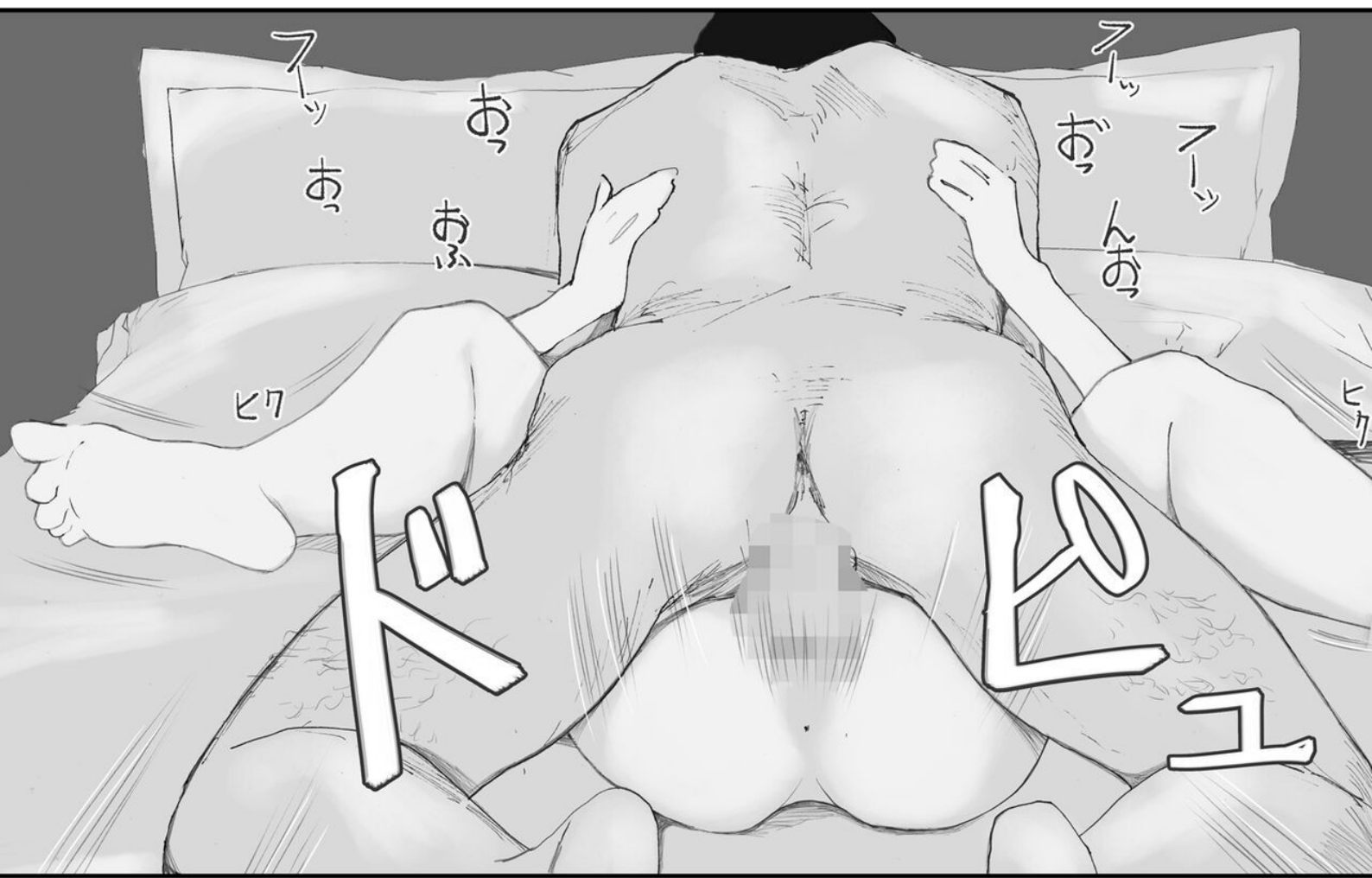
あ

締めり最高

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

あ

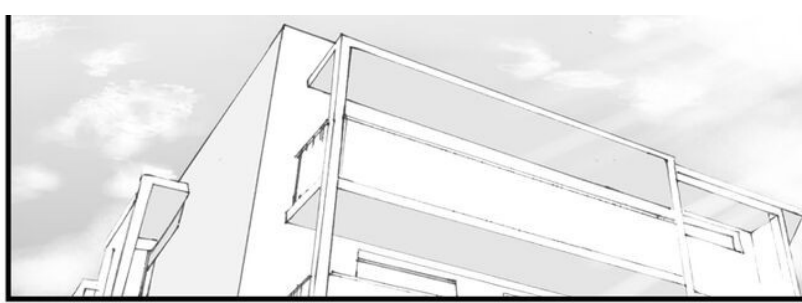






ん?どした?朝から
真面目な顔で?

ふあ



おはよ..
休日って
寝すぎちゃう

美咲、ちょっと
話したいことある
んだけど..

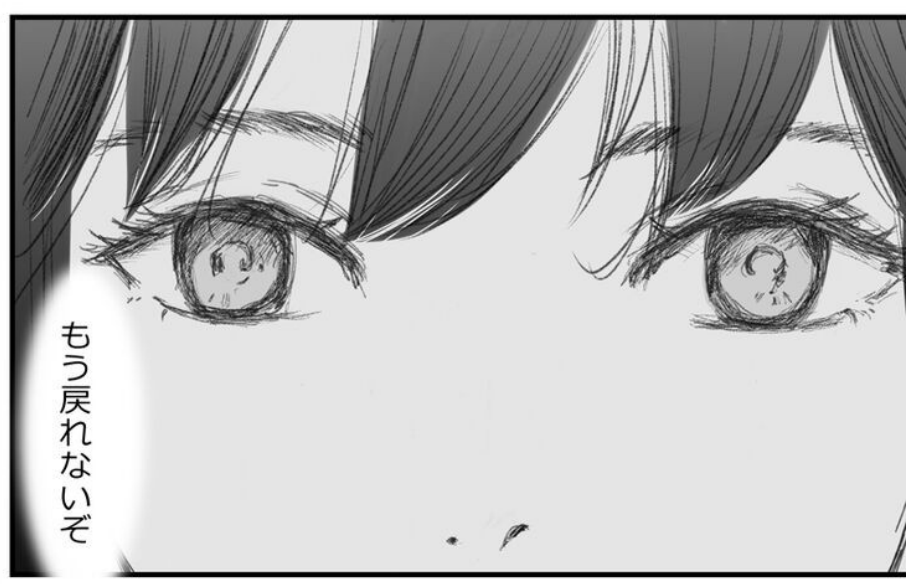


権藤部長と
二回デートして
もらったけど..

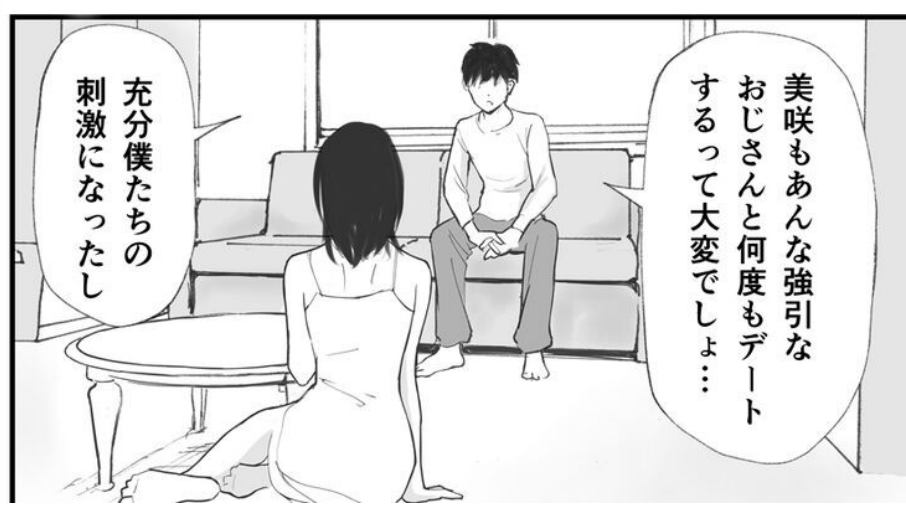
これで
おしまいにしても
いいかなって



えっとね.....



もう戻れないぞ



美咲もあんな強引な
おじさんと何度もデート
するって大変でしょ..

充分僕たちの
刺激になったし



わたしはね、もうちょっと
続けたほうがいいと思う



それに…ほら、
わたしたちの将来の
ためだし…心配しないで

嫌ってほど
じゃないよ



今、朝ご飯つくるね…
ってもう昼近いけど！

お腹すいたでしょ？



昨夜も部長は
しつこかったんでしょ

そうなの？
てっきり美咲は
嫌がってるかと
思ってたよ

三カ月後

美咲は部長とのデートについてほとんど話してくれなくなっていた：

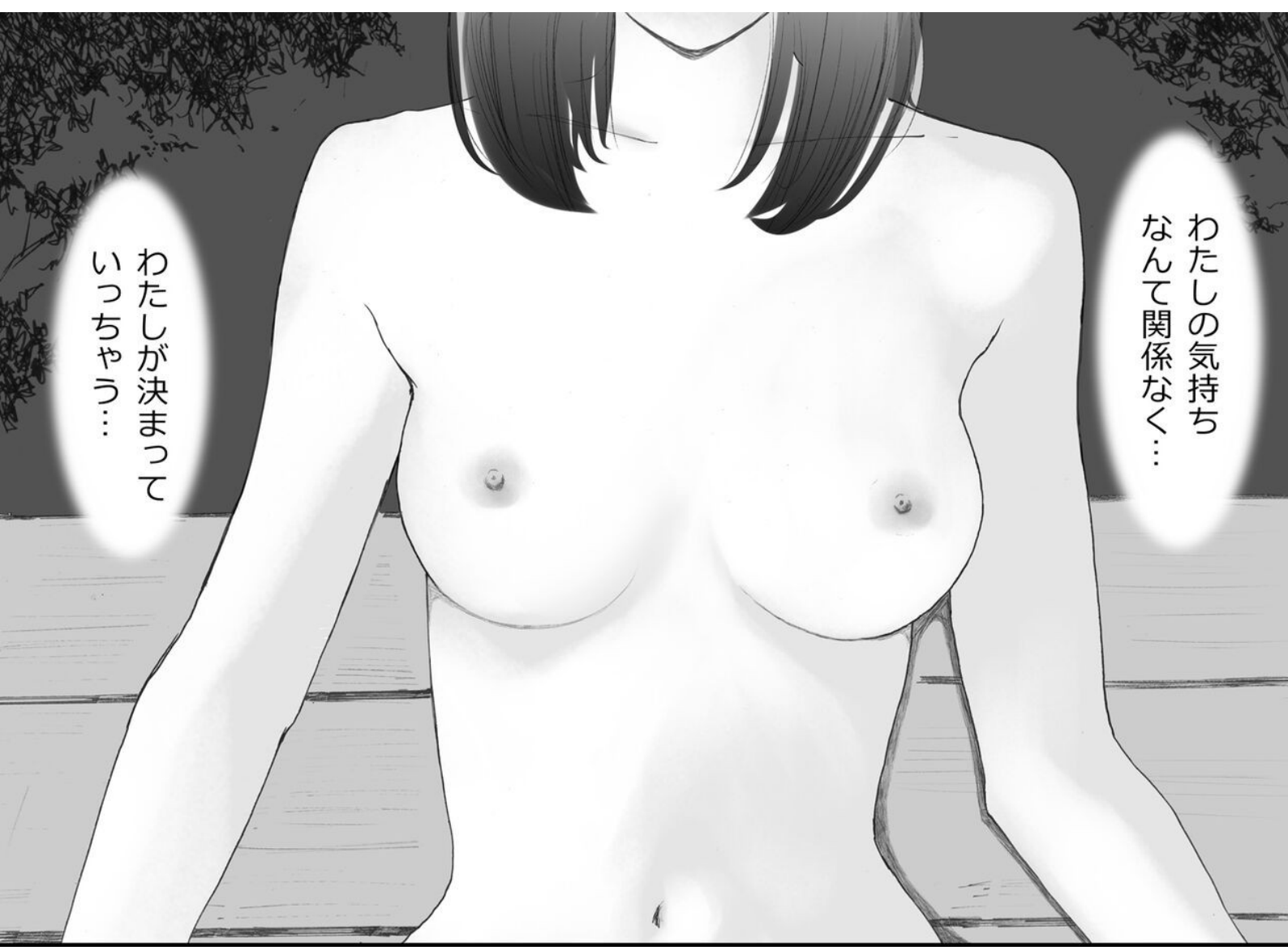
涼一この見積もり
今日中に仕上げ
ておけ

でも最近、すごく
きれいになってるし
お洒落にもなってるから

え…部長
もう五時です
よ…







わたしの気持ち
なんて関係なく…

わたしが決まって
いっっちゃう…



集まってきたな
足広げろ

ドキドキ

はい



おおー！
超美人だな！

でもあんなこと
してるって淫乱女
ってことだよな

しかも俺好み
の美乳

見られてる...

おお、全部脱いだ!

割れ目も丸見えじゃん

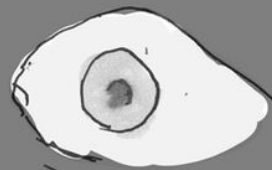
見られちゃいけないところ全部見られてる...そして...

あんな人たちにわたしがどんな女か決められてる

犯されたがってるだろ、あれ



クン



スゲー

ハア



クン

たまらぬ



ハア



美咲は淫乱で犯された
がってる女らしいな

んん

わあ



は

は

は

は

は

美咲がどんな女か
勝手に決められてるぞ



穴をお見せ
しながらだぞ

「これから美咲の穴を
犯してもらいます。ご覧くだ
さいませ」とみんなに
お願いしなさい



ほんとのわたしは
そんな女なの...?

は

は

んん

んん



終わらないなあ
終電までに間に
合うかな

カリ

カリ

カリ



いつも美咲は寝ないで待っててくれるし何とか頑張ろう

これから美咲のこの穴を犯してもらいます

ご覧くださる

クパァ

はあ

はあ

はあ

はあ

カリ

カリ

フー

フー

フー





こんな美咲の姿、涼一
なんかじゃ絶対
引き出せないだろ

こっちが美咲の
本当の姿だからな

んあッ

ん

んあッ

んあッ

んあッ



もっと近くで見て
くらひゃッ...

はあ

はあ



はい...
涼一じゃ...絶対無理...

みなさま...

ああッ

ん

んあ

んあッ

ぬあッ

ぬあッ

ぬあッ



終わった!

はあ







そんなわたしを見た
いって涼一の願いで
もあったよね

だからわたし…



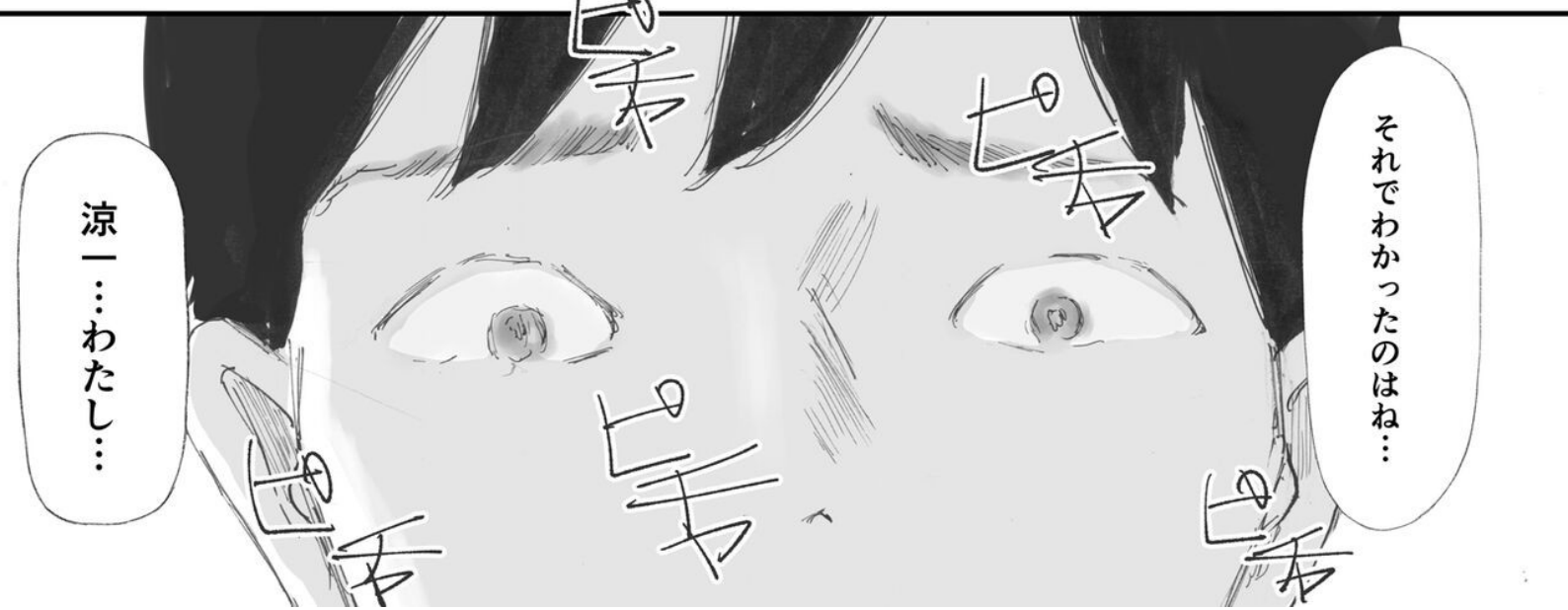
真剣に部長とデートしたんだよ
わたしが部長と食事だけして
るって思ってた？
ちがうんだよ

あ〜

もっと自分を
捧げてみたの…

あ〜

あ〜



それでわかったのはね…

涼一…わたし…

あなたと一緒にだと
本当の女になれませんか
ごめんなさい…

罪滅ぼしっていうわけ
じゃないけど…せめて
新しいわたしの姿を見てね
見たかったんだよね？

昨夜から俺が使い
倒した美咲のまんこ
すごい濡れてるぞ

ち…ちがう…
そういう意味
じゃないんだ！





感謝してそこで見てろよ



ぬちや

美咲…

ぬちや

ぬちや



ちがうってなんだよ
美咲がせっかく見せてくれるんだぞ

ぬちや

ぬちや

ぬちや

ぬちや



涼一…権藤さんの奥まで入ってもね全然痛くないの

はあ♡

はあ

めん

は♡

んあ

ん



今までお前が見たことがない美咲をな

美咲、涼一になにか言ってやれ

ぬちや

ぬちや

ぬちや

ぬちや

ぬちや

ぬちや



ん...あん...
涼一とでは...んんん
こんなふうになるの
無理だったよね

...それ...
わかってる...でしょ

今までいっぱい試して
上手くいかなかった
んだから...

ほら、入っていると
丸見えサービスだぞ

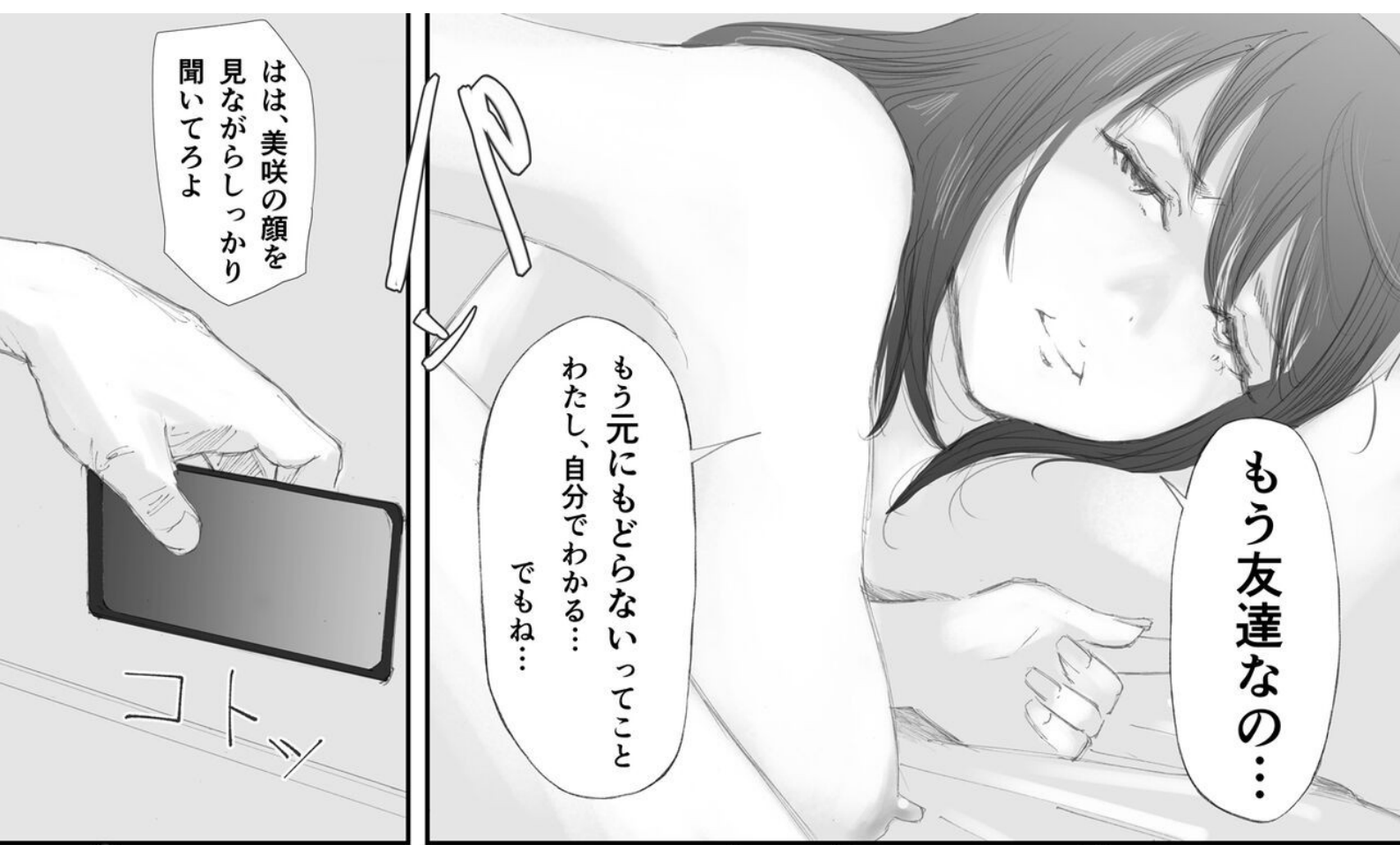


涼一の気持ち...嬉しいけど
ごめんなさい
わたしにとって涼一は...



美咲、お願いだ！
僕には美咲しか
いないんだ！

帰ってきて！



はは、美咲の顔を
見ながらしっかり
聞いてろよ

もう元にもどらないってこと
わたし、自分でわかる…
でもね…

もう友達なの…



こんな姿まで見せて
あげてるんだよ…

ん…やばい…
奥に来る…



だからただ別れるのは
かわいそうだって
思ってる…

涼一はこれからもすごい
大切な友達だよ？



限...界





ヒッ

ヒッ♡

ヒッ♡

あーあーあーあーあーあーあー

クワ

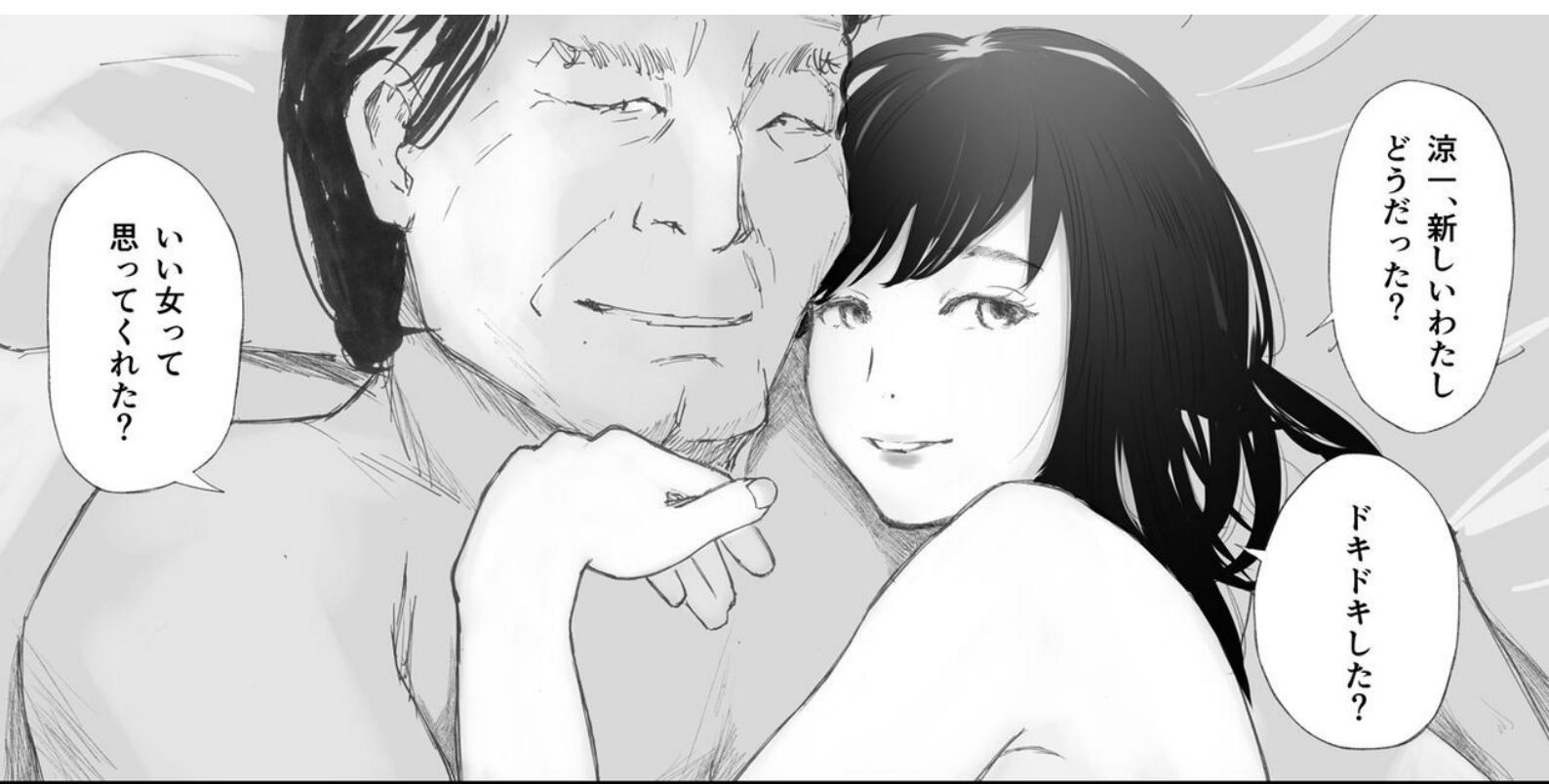
...あーあーあーあーあーあーあー

ヒッ

クワ

クワ

ダラー



涼一、新しいわたし
どうだった？

ドキドキした？

いい女って
思ってくれた？



わたしはもう涼一の
婚約者じゃないけど

これがせめてもの
わたしからの恩返しなの

涼一とはいっぱい一緒に
時間を過ごしてきたから…
これからも一番の
友達でいてね



会社もやめるなよ
そんなことしたら二度と
美咲に会えなくなるぞ

やめなければ時々
美咲と会わせてやる
俺の女としてだがな

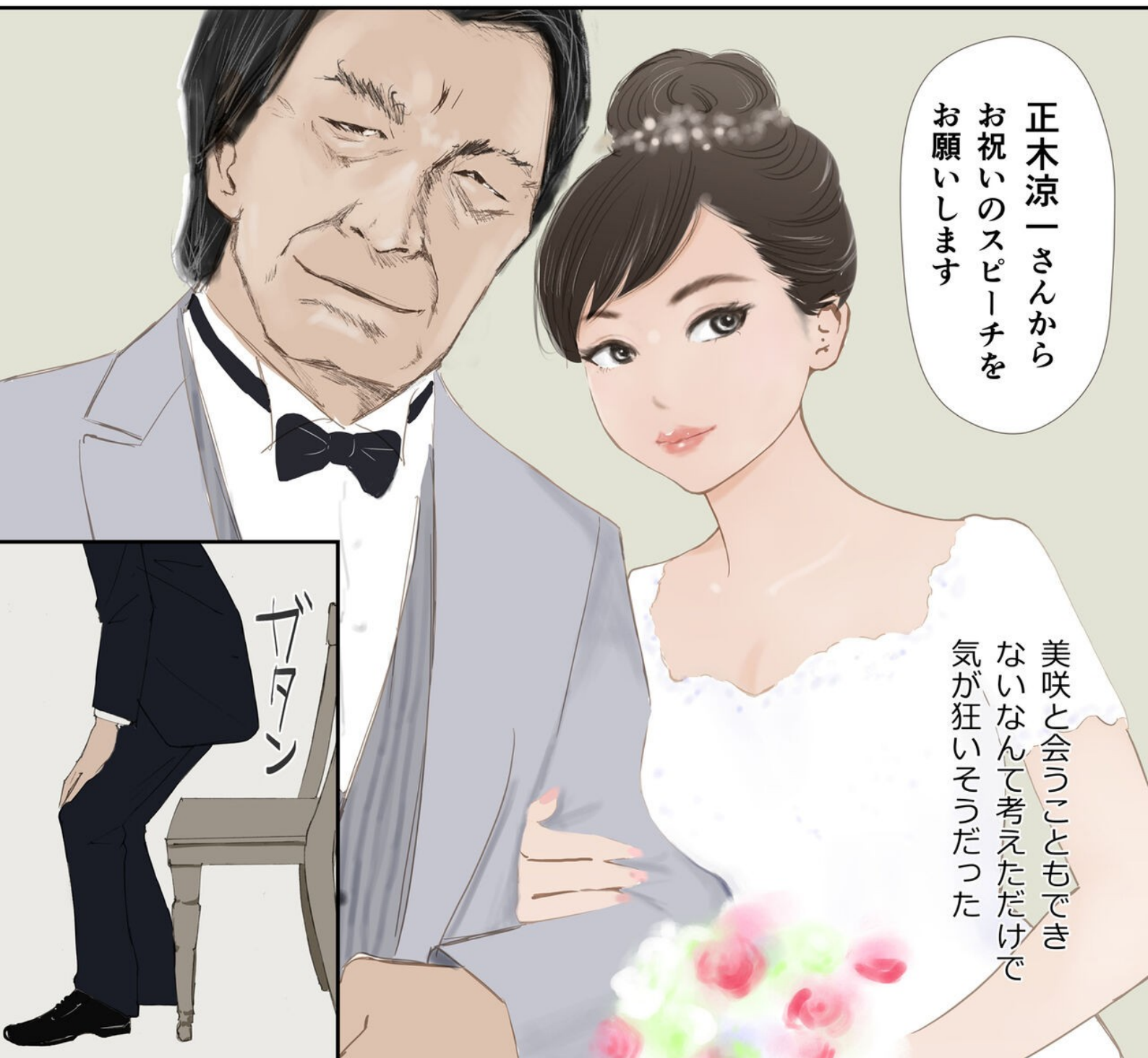


ではここで新郎の
部下でもあり
新婦のご友人でもある…



結局、僕は二人の要求
を受け入れた…

皆様どうぞ、新郎新婦
に更なる祝福をお送り
ください！



正木涼一さんから
お祝いのスピーチを
お願いします

美咲と会うこともでき
ないなんて考えただけで
気が狂いそうだった



だって、わたしのこと
一番よく知ってるの
涼一だし…

夫もね
涼介がスピーチ
してくれたら…

結婚式のスピーチ、涼介にしてもらいたいな



新婦の美、美咲さんは
美しいだけでなく
性格も最高の女性で…

それは僕にとっても
本当に今でもそう
思えて…



いつまでも…

いつまでも僕の気持ちは
変わりません…



お礼にわたし
たちの初夜を
見せてあげるって！
目の前でね

これからは権藤部長の
奥さんになってしまうけど…



はは、ちゃんと妻を愛せるモノじゃないと夫の資格ないだろ

すごいでしょ...これが本物の男の人のモノなの涼一...比べ物にならないよね

わたしが涼一と友達でしかいられない理由...



そんな離れたところに立ってないでもっとこっちにきて

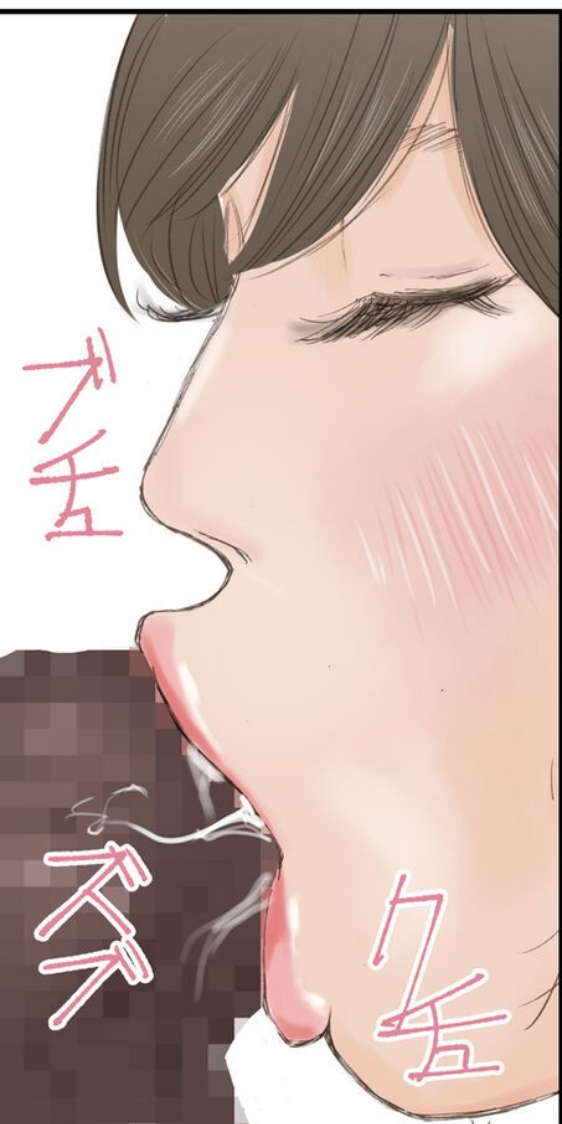
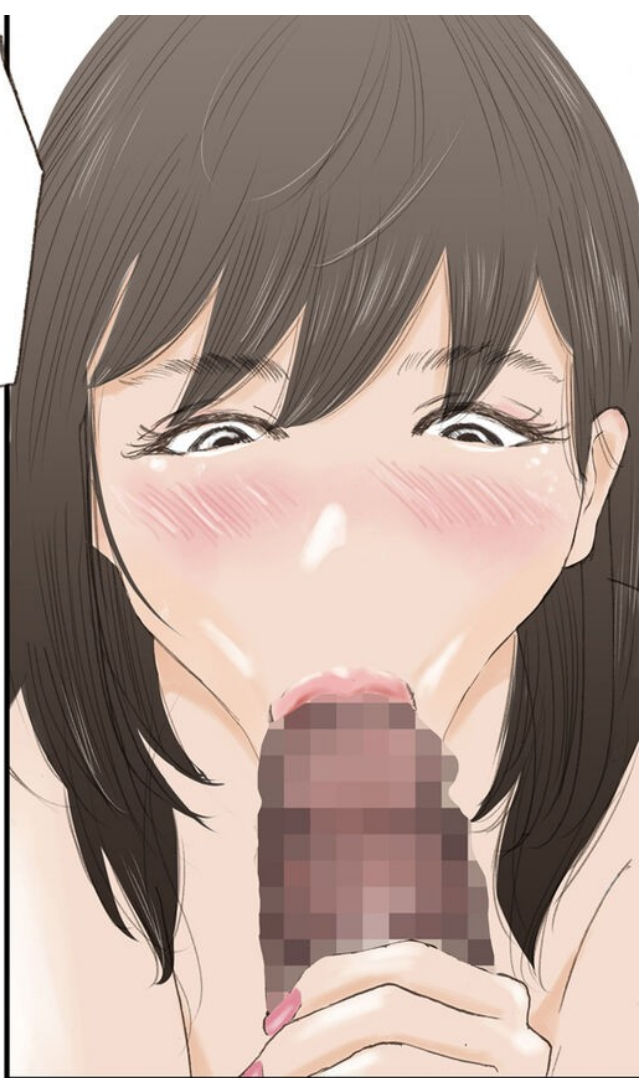


くちゅ くちゅ くちゅ

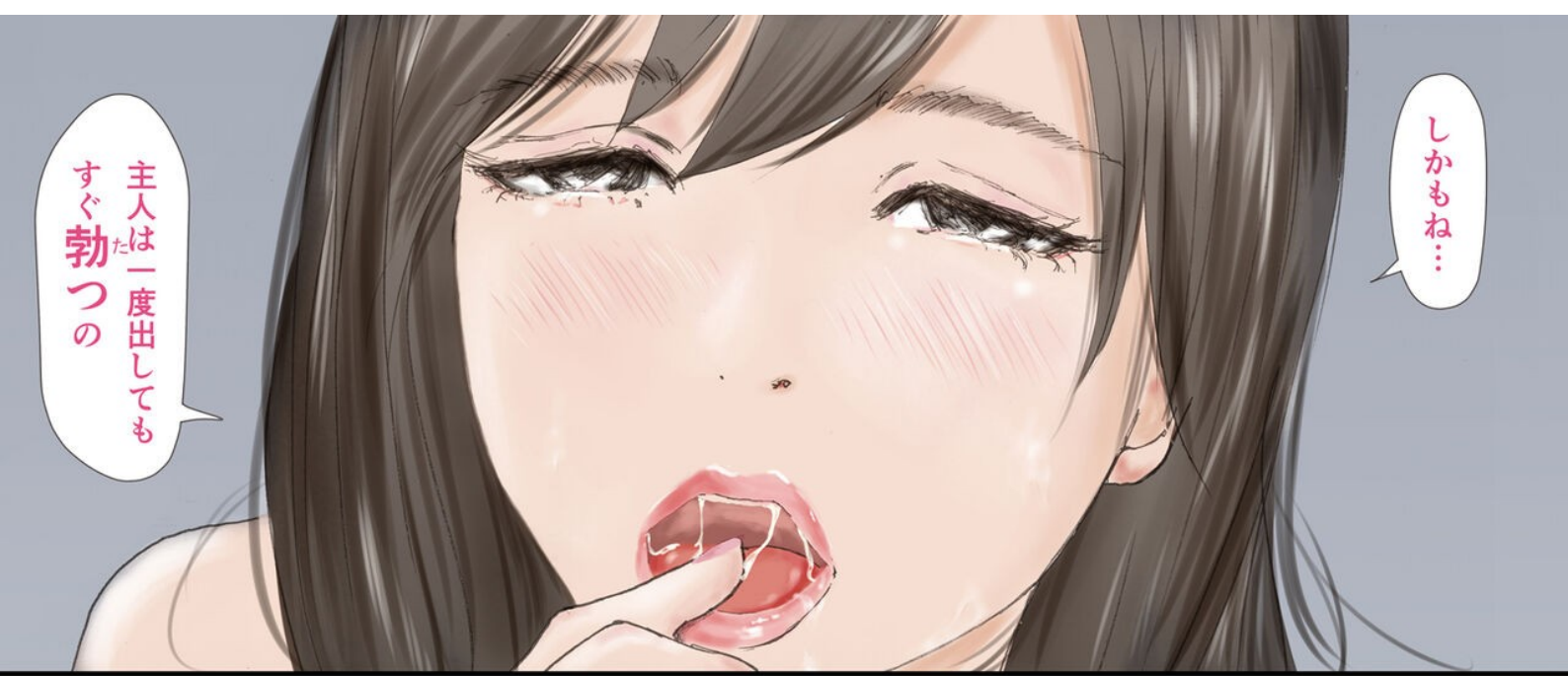


びゅん

わかってくれるよね?







しかもね…

主人は一度出しても
すぐ勃つ
つ



アツアツ

でも…
アツアツ

ブルブル



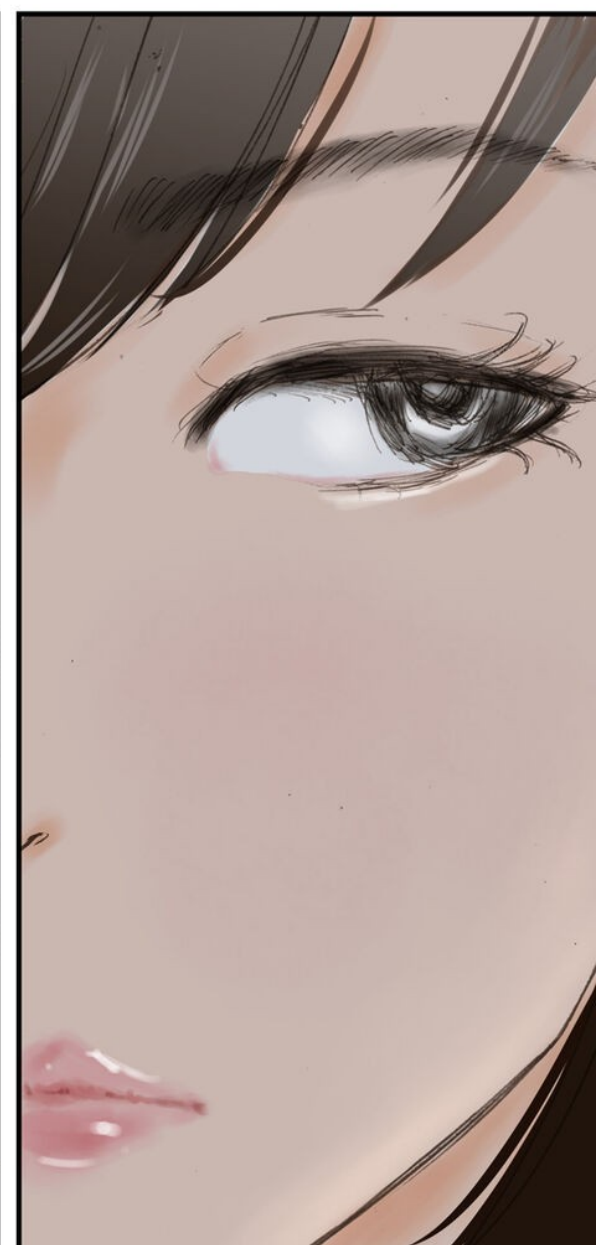
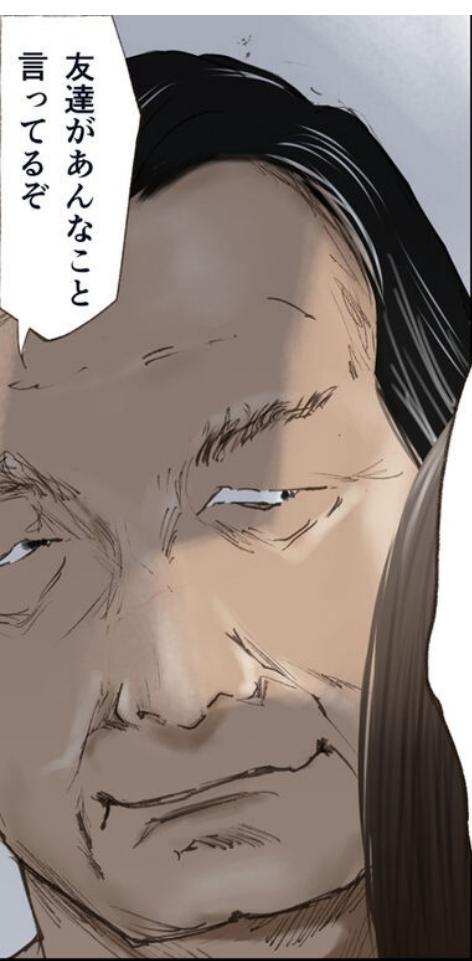
それも涼一とは
ちがうよね

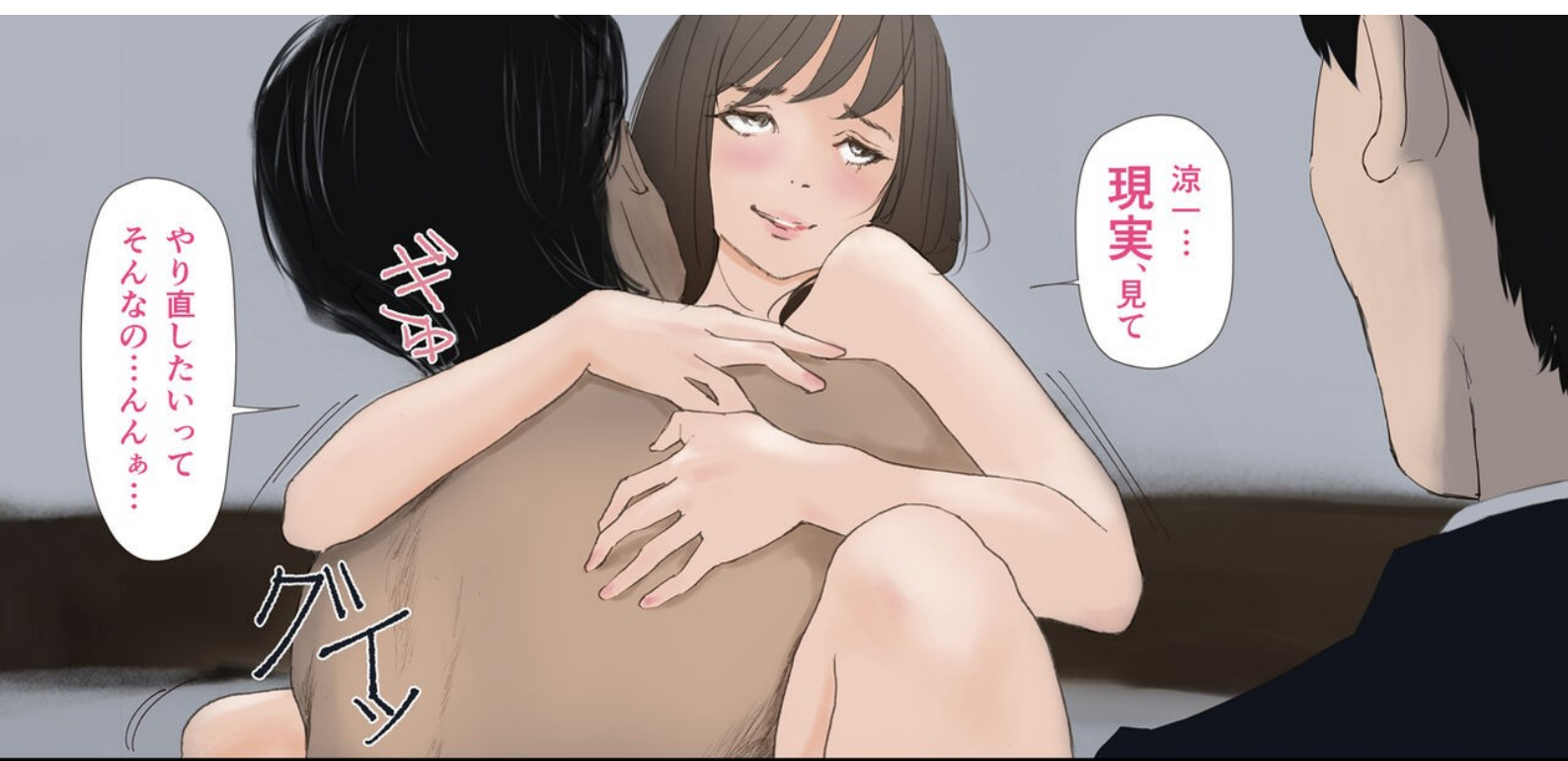
涼一、お前はほんとに
使い物にならないなあ



え？
何？

声が小さくて聞こ
えないんだけど…



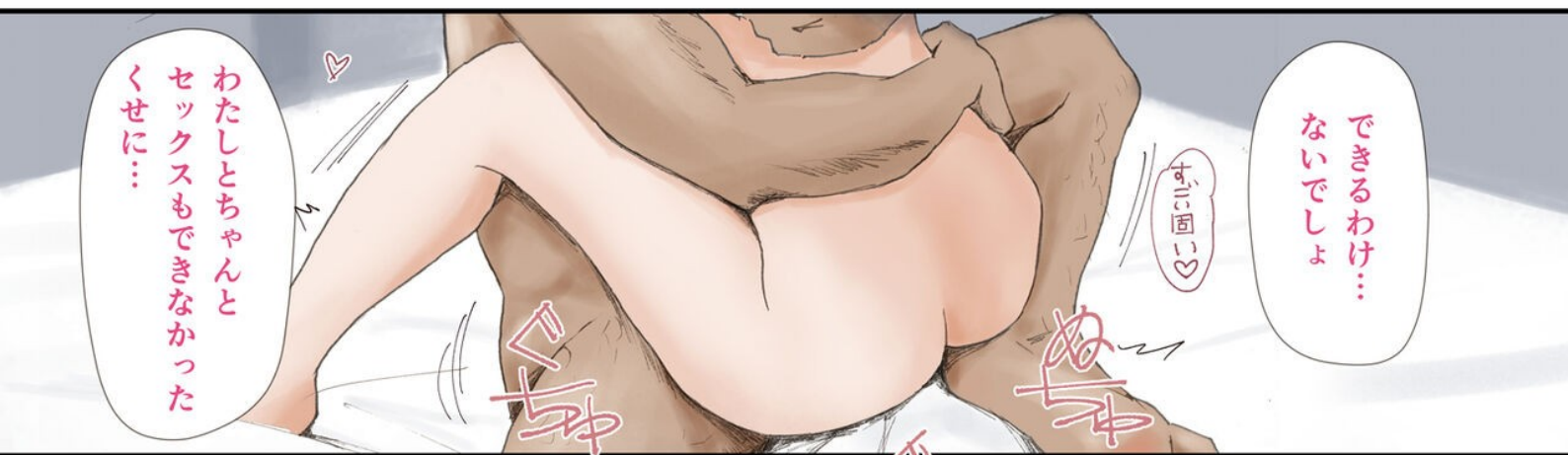


涼一：
現実、見て

やり直したいって
そんなの…んんあ…

ぐんぐん

グイッ



できるわけ…
ないでしょ

すく固こ♡

わたしとちゃんと
セックスもできなかった
くせに…

ぐんぐん

ぬんぬん



涼一はオスとして
負けたの

わたしはそのことを
主人に教えて
もらったのよ

あなた、涼一にも
ちゃんとわからせて
あげてください

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん



はは 敗北わからせ
セックスだな。ちゃんと
見てろよ、涼一
夫婦が男と女として愛し合う
姿をな

じゅる

じゅる

ん♡

あん



あゝ♡

あゝ

クク

クク

キタマ♡

キタマ♡

ズ

ズ

ズ

ズ

夫の…んん…
すごい…

子宮
まで
届いてるよ

これでわたしが女だって
わからせてもらったの

ゾク

ゾク

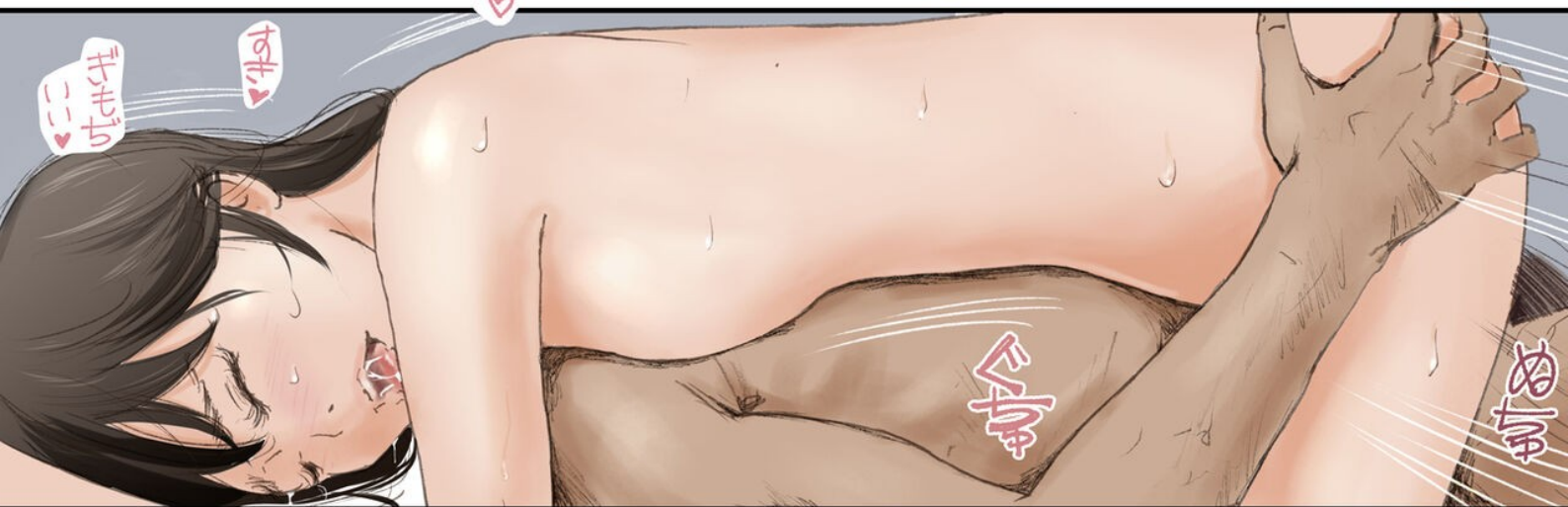
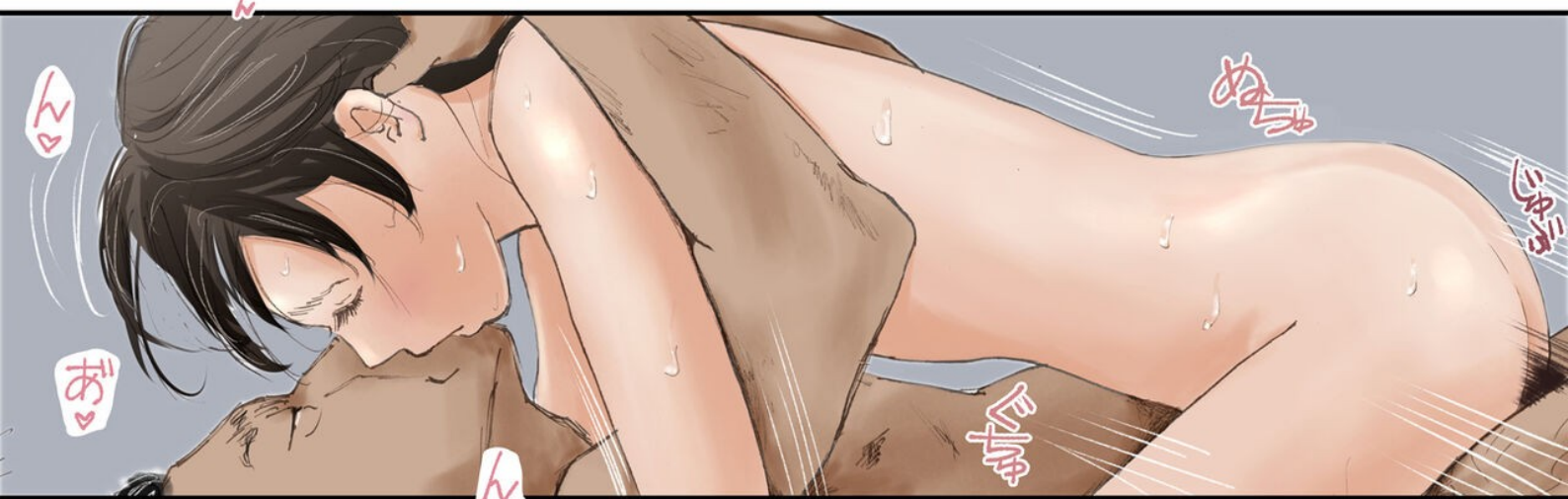
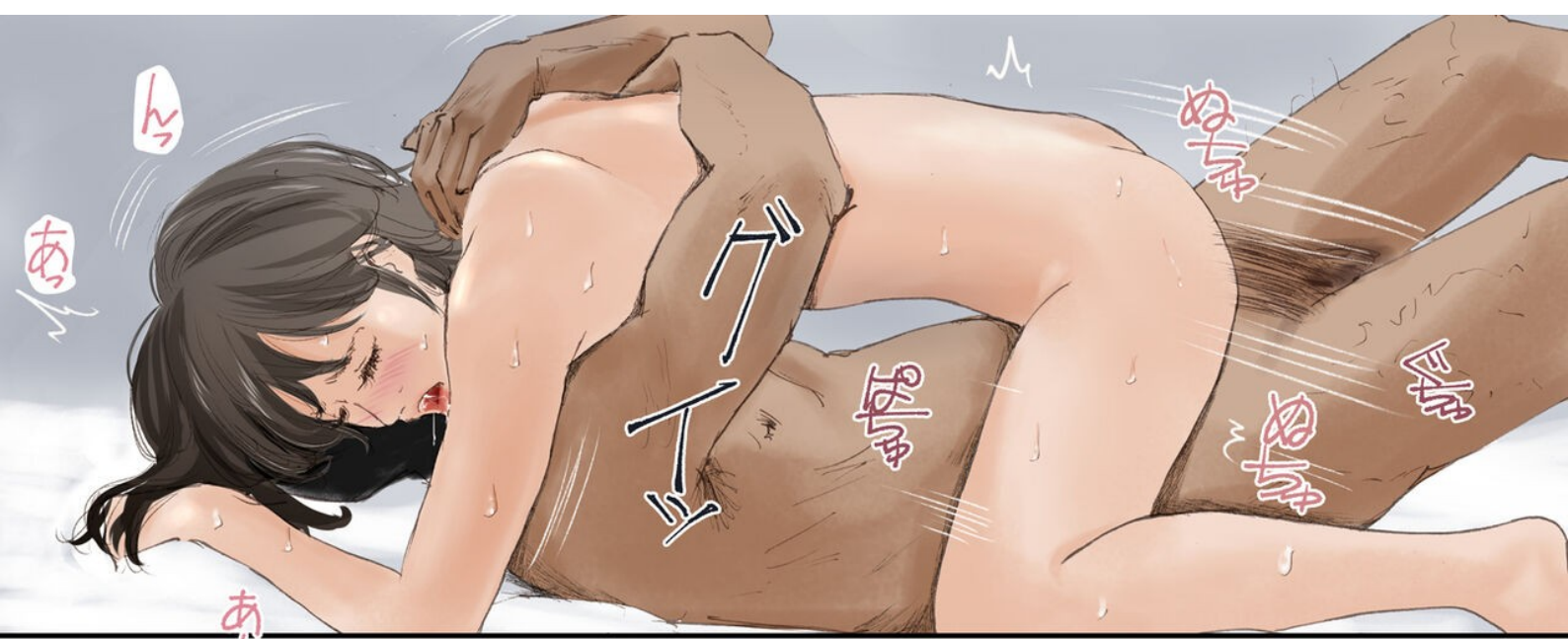
ぬる

ぬる

ハ
五

ハ
五









カシヤ





END

あとがき

このたびは本作品をご購入いただきありがとうございます。
楽しんで頂けましたら作者として嬉しいかぎりです。

本作品はサークルとして2作目ですが、今後描きたいと思っているのは「寝取られ」「寝取らせ」「僕が先に好きだったのに(BSS)」といったジャンルです。男性視点を増やしたり、和姦や複数を取り入れることも考えています。ご興味を持っていただけたら幸いです！

猫目 恋